

八重山で共に暮らす島人を撮影したシリーズ。
暮らしの中から見つめる被写体に共感と敬意を
込めて撮影している。



竹富島出身の新田^{にったる}瑠夏^かさんと上勢頭^{かみせとちひろ}千尋^{ちひろ}さんは、小学1年生と2年生で学年は違うけれど、保育所に通っていた頃からの大の仲良しだ。負けず嫌いで活発な瑠夏さんとマイペースで優しい千尋さんのコンビは、でこぼこなりに上手に付き合っていて、その様子は見ているこちら側を愉快的気分させてくれる。

娘が小さい頃に始めた英語で遊ぶ会も、今年で9年目になる。以前は私自身も時間にゆとりがあったため、週に2回、3回と会を開いていた。今では仕事が忙しくなってしまう、週に一度だけ、瑠夏さんと千尋さんの2人が通ってきている。

忙しい日々^にに翻弄^{ひんじやう}され、時間に追われるような毎日を送っている中、一週間に一度、パソコンからも締め切りのプレッシャーからも引き離され、瑠夏さんと千尋さんの自由な世界へと手を引っ張ってもらえることは、私にとっては心の洗濯をしてもらえるような、一週間のリセットをしてもらえるような、そんなありがたい時間だ。

天気や子どもたちの体調にもよるけれど、なるべく海辺でピクニックをしながら英語の絵本を読んだり、ゲームをしたり、自由に走り回ったり、木登りしたりして、自然の中に身をおきながら英語に触れるような体験と一緒に楽しんでいる。

2人にお互いの印象を聞くと、「千尋ねえちゃんは、やさしいひと」「瑠夏は、おもしろいひと」と返ってきた。

瑠夏さんは、大きくなったら漫画家に、千尋さんは船員さんになりたいそうだ。

子猫のようにじゃれ合う2人の重なり合う笑い声を聞くと、この先もずっと、2人の夢が叶うそのずっと先までも、この穏やかな日常が続くことを心から願わずにはいられない。

子どもが子どもらしく暮らせる世の中であり続けますように。

水野暁子 みずのあきこ

1973年千葉県に生まれる。1986年に家族とアメリカへ渡る。1996年 School of Visual Arts (New York) を卒業。1999年に竹富島に移住。現在子育てをしながら撮影活動中。

●島人へのインタビューをまとめて紹介している YouTube チャンネル「八重山ライブラリー」も。

●フォトエッセイ本『八重山、光と風の葉をはさんで』。発注は、右 QR コードホームページの Contact から。



Akiko Mizuno Photography



八重山ライブラリー